

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公開番号】特開2007-175531(P2007-175531A)

【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2007-62584(P2007-62584)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月7日(2009.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に関する制御を司る制御基板、及び該制御基板を収容する基板ケースを有する制御装置と、

遊技機本体の背面に設けられ、前記制御装置を前記基板ケースと前記遊技機本体の背面とを離間させた状態で装着し、その基板ケースと遊技機本体の背面との間に空間領域を形成する台座部材と、

前記空間領域に設けられ当該空間領域を細分化するスペーサ部材と、を備え、

前記台座部材は前記遊技機本体に対して回動可能に設けられ、

前記スペーサ部材において遊技機前後方向にて対向する両端面のうち前記台座部材が回動した場合に露出する端面側に蓋部が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記スペーサ部材は、遊技機前後方向に延びる向きに形成された複数の仕切部を有し、

前記蓋部は、前記各仕切部の間を閉鎖するものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記スペーサ部材は透明材料により形成され、当該スペーサ部材の内部が視認可能になっていることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。